

消防吏員用活動服仕様書

(冬期用)

令和3年度

匝瑳市横芝光町消防組合

第1 総 則

- 1 本仕様書は、匝瑳市横芝光町消防組合（以下「当組合」という。）において購入する消防吏員用活動服について必要事項を定めることを目的とする。
- 2 この活動服は当組合職員が着用する制服で、消防活動に適用するものであること。
なお、活動服に使用する主材料及び付属品等は、着用に十分耐えられ、かつ、機能性のある優良な製品であること。
- 3 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した見積り額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
従ってデザイン料その他については、問題等が生じた場合には受注者の責任において解決するものとする。
- 4 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ、縫りムラなどの目立たないものを、また織り上がりは均整で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- 5 縫製については、各部の縫い合わせ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないように充分配慮し行わなければならない。
- 6 製品の納入に際しては、一着ごとにプレスした後ビニール袋により包装すること。
- 7 指定業者は見積書提出時に原反引受証明書（東レ # 4 1 2 0 難燃サージ又は同等品）を提出し、購入契約時に原反出荷済証明書を提出し契約しなければならない。
- 8 指定業者は一週間以内に試作見本を提出し、担当職員の検査を受けなければならない。
- 9 この仕様書に疑義を生じた時は、担当職員の指示を受けなければならない。
- 10 数 量 活動服上下 6 9 着
 活動服用ベルト 6 6 本
- 11 納 期 令和3年9月15日（水）

第2 縫製仕様書

1 形 式

(1) 上 衣

カッター衿型、ファスナー式、長袖袖口ファスナー（水かき付）式、胸部左右雨蓋付きアウトポケット（左のみペン差し口付き）、背ヨーク付き、左腕部ペン刺し付き、背ヨークに当組合名プリント入り。

右袖にエンブレム（消防組合）を貼り付ける面ファスナーを縫い付けること。（肩の縫い目から約 40 mmの位置に縫い付ける。）

※詳細は、別紙1、別紙2、別紙3、別紙6のとおり。

(2) ズボン

長ズボン、ツータック付き、腰裏マーベルト付き、裾口シングル、ベルト通し8本付き、尻左右にポケット（ファスナー式）、脇ポケット（カーゴポケット式）

※詳細は、別紙4のとおり。

2 号 型

号型寸法は、別紙5のとおり。

3 表生地材料及び付属品

(1) 品 名	東レ	難燃サージ又は同等品
(2) 品 番	4 1 2 0	又は同等品
(3) 色 相	C / #	N T B 又は同等品
(4) 混 紡 率	メタ系アラミド繊維	7 5 %
	パラ系アラミド繊維	5 %
	難燃ポリエステル	2 0 %
(5) 使用糸番手	経 3 6 / 2 × 緯 3 6 / 2	
(6) 仕上げ密度	経 9 1 本 / 吋 × 緯 7 0 本 / 吋	
(7) 品 質	耐 光	4 級
	洗濯変退色	5 級
	摩 擦	4 ～ 5 級
	汗変退色	5 級
	帯電電荷量	7 μ m ² 未満
	厚生労働省安全指針	7 μ / m ² 以下
(8) 収 縮 率	タテ 0 . 5 %	ヨコ 0 % 以内
(9) 洗濯後のしわ		4 級以上

4 材 料

区 分	仕 様	用 途
表 地	東レ # 4 1 2 0 メタ系アラミド繊維 7 5 % パラ系アラミド繊維 5 % 難燃ポリエステル 2 0 % 糸番手 経度 36 / 2 X 緯 36 / 2	上 衣 ブゾン
衿 芯	キンセン B E 型プレス芯	主衿・衿台
配 色 生 地	東レ # 7 6 2 8 C / # K P R 1 0 難燃・消臭ツイル	衿台表・背ヨーク部 胸左右ポケット中央ヒダ 表衿（トリミング）
衿 吊	メーカー 表示したもの	衿
縫 糸	本縫 テترون糸 5 0 番	
フ ァ ス ナ ー	Y K K コイルファスナー（見本通りの物）	前立て・カフス 尻左右ポケット
面 フ ァ ス ナ ー	ベルクロ 2 0 mm ブルー及び 2 5 mm	階級章台 前立て ネーム台 胸左右ポケット
フ ァ ス ナ ー	Y K K 3 号	ブゾン（前立て）

5 条 件

(1) 針 数 (3cm 間の標準針数)

地縫い	1 1 針以上
飾り縫い	1 3 針以上
オーバーロック	8 針以上

(2) 穴かがり

ズボン	天狗釦部
-----	------

(3) 釦 付

手付け 二条の糸を一つの穴に 3～4 回通し根巻は 3 回以上とする。なお、糸止めを完全にする。

機械付け 釦一個の糸量は 1 6 針以上とし、機械調子は良好で糸止めが完全であること。

(4) 裁 縫

糸調子は上下とも、つれ、たるみの無いようにし、返し針を完全にする。

縫糸はテترون糸を使用すること。

6 縫製要領

縫い始め及び縫い終わりの返し縫いは十分に行うこと。

各部の縫い付けは良好で、特に環縫いは縫いはずれや目とびのないこと。

釦付け及び穴かがりは糸調子が良好であること。

(1) 上 衣

① 主 衿

テترون芯を入れ、衿巾は中央で 8.7cm (衿台巾 4cm) 衿先巾 8.5cm とする。

衿羽部に、巾 1cm のアクセントカラーを使用したトリミングを施すこと。

② 身 頃

前身は二枚ハギとし、バストラインで縫い合わせる。

③ 衿 吊

衿吊は、所定のものを衿付中央に、はさみ縫付けとする。

④ 胸ポケット

胸ポケットは左右二個で雨蓋付アウトポケットとする。雨蓋は身頃切り返し部に、はさみ縫付けとし、マジックで止め、切り返しはオーバーロックがけとする。

雨蓋は巾中央で高さ 5.5cm、横巾 14.0cm、胸ポケットは切りポケットとし、口巾 13cm、深さ 14.5cm、中央部ヒダ巾 5cm とする。なお、口の両端本縫いミシン罫をする。

又、雨蓋・ポケット・ヒダ部には、0.5cm 巾のダブルステッチを入れる。

左胸ポケット部上前中心側から 1.5cm の位置に幅 3cm のペン差し口を付け、口の両端は本縫いミシン罫をする。なお、左胸ポケット部の雨蓋取付部左端に警笛用ループを取り付けること。

⑤ 前 身

バストラインより下部は、上前、下前とも一枚ハギとする。

前端のファスナー取り付け部は衿付けより **4.0cm** 下げて取り付けること。

⑥ 前立て

前立てはヒヨク仕立てファスナー式とし、マジックテープで三ヶ所止める。

⑦ 肩当て

背ヨーク部は、二枚合わせとし、表部に配色オレンジを使用する。

ヨーク巾は中央で **18cm** とし、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとする。

⑧ 肩 縫

肩倒しくるみ縫いとする。

⑨ 脇 縫

本縫いし更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）

⑩ 袖 縫

袖の縫合せは本縫いし、更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）

左袖取り付け部より **8cm** 下にヨコ **5.5 c m**、タテ **14cm** のペン差し（2本用）を付けること。

右袖にエンブレム（横巾 **8.5cm**、縦 **10.0cm**）を貼り付ける面ファスナーを縫い付けること。（肩の縫い目から約 **40 mm**の位置に縫い付ける。）

⑪ 袖付縫

本縫いし、更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）

⑫ 袖 口

ファスナー（水かき付き）式とする。

のぼりつきとし、のぼりの高さは **18cm**、開きは **14cm** とする。

⑬ 片 布

所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫い付け、その下クロスラベルを縫い付ける。

⑭ サイズネーム

衿付中央の下縁にはさみ縫い付ける。

⑮ 階級章台座

右胸ポケット雨蓋上部押さえ縫い線（前ヨーク押さえ飾りミシン）から **1cm** 上部中央にタテ **2.5cm**、ヨコ **4cm** の階級章取付用面ファスナー（凹面・表生地同色系）を縫い付ける。

⑯ ネーム

左胸ポケット雨蓋上部押さえ縫い線（前ヨーク押さえ飾りミシン）から **1cm** 上部中央にタテ **2.5cm**、ヨコ **4cm** のネーム取付用面ファスナー（凹面・表生地同色系）を縫い付ける。ネームは横書きにオレンジ色の糸にて刺繍する。寸法は、タテ **2.5 cm**、ヨコ **4 cm**とする。

⑰ 裾折り返し

裾は三ッ折とする。（アロハ型）

⑱ アクセントカラー（配色使い）

衿表（トリミング）・衿台表・胸ポケット中央部ヒダ・背ヨーク部に指定の生地を使用する。

⑬ 刺繍

背ヨーク中心部に「当組合の指定する文字」を蓄光反射縫込みで入れる。字体、大きさは担当職員と協議し決定する。なお、文字については別紙４のとおり。

(2) ズボン

① 前タック

深さ 10 mmの外向きタックを左右に各 2 本付ける。

② 腰 帯

帯巾 3.5cm 仕上がり寸法とし芯地(33-58)を入れ裏は滑り止め付とする。
ファスナー上部に前カンを取り付け、上前マーベルト下端に天狗釦を付ける。
腰帯は、脇縫いの箇所では後ろ身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。

③ ベルト通し

上端より 1cm 下にループ巾 2cm、長さ 5cm のループを 8 本取り付ける。
ベルト通し付けはミシン罫止めし、両端は本縫い 4 回以上とする。

④ 脇ポケット

カーゴポケット方式とし、両脇に雨蓋付きアコーディオンポケットを縫い付け、口幅約 16cm、深さ約 20cm とし、雨蓋は両端を面ファスナーにて留め、口端に罫止めをすること。

袋は地縫いと押えミシンの二重縫いとする。

⑤ 尻ポケット

上端より 8cm、下に口巾 14cm、深さ 18cm の片玉にてポケット二個付ける。
尻ポケットはファスナー式とし、ポケット両口端にはそれぞれ罫止めをする。

⑥ 相引、内またしりぐり

断目はオーバーロック、しりぐり、内またはミシン 2 回縫いし特にしりぐりは、糸切れを防ぐため伸ばして地縫いする。

⑦ 棒シック

袋地使用、尻縫目にミシン目が表に出ないように長さ 10cm、巾 2cm のものを付ける。

⑧ 裾 口

折り返しは 3cm 以上とし、オーバーロックかけミシンたたきとする。

⑨ 靴づれ

巾 2cm、長さ 18cm を付ける。

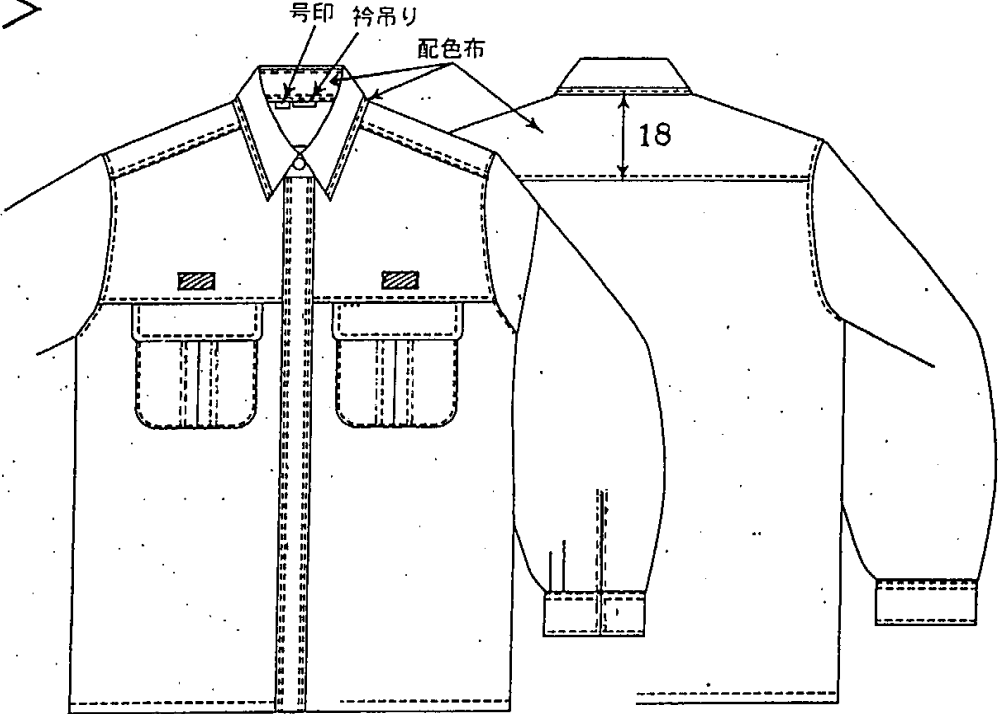
⑩ 片 布

下前、脇ポケット裏に付ける。

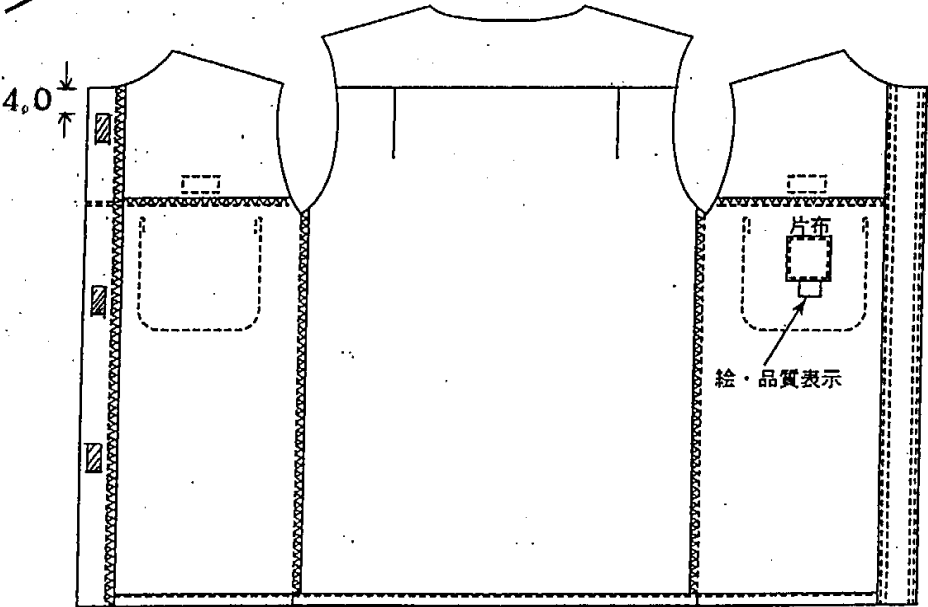
⑪ 穴かがり

機械穴、鳩目。

<表 面>



<裏 面>



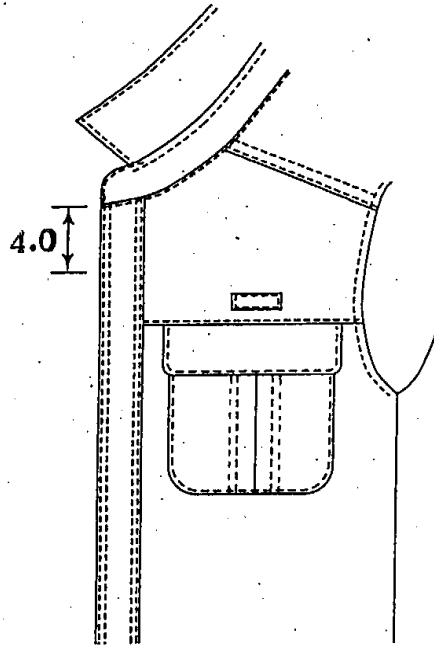
芯入本前立

別紙2 階級章台座及びネーム位置
 上前胸ポケット雨蓋中央の位置とする。

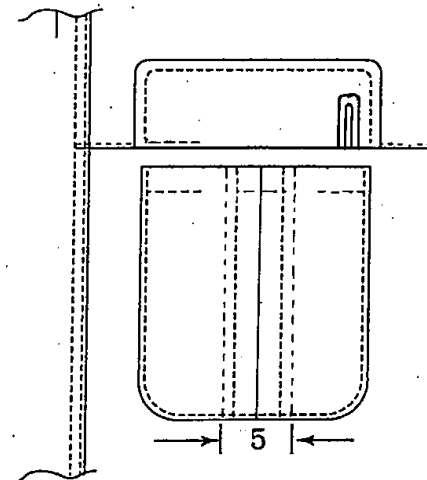
＜前見頃＞

衿幅・後中心

衿先

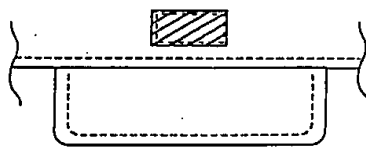


＜胸ポケット＞

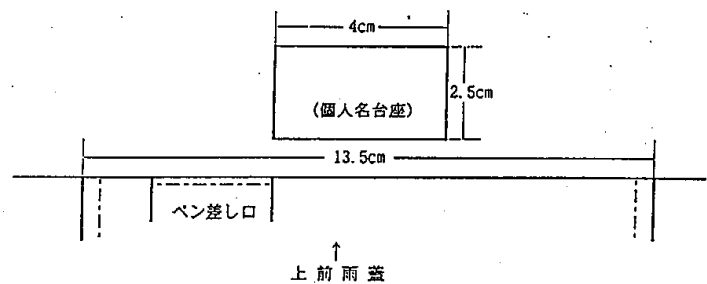


＜階級章台座・個人名台座＞

面ファスナー（メス）
 2.5 × 4



面ファスナー（メス）



別紙 3

(1) 背ヨークの刺繍

① 字体及び寸法

寸法については、担当職員と協議する。

横約36cm 縦約10cm

国境市横芝光町消防組合

(2) 素 材

蓄光反射縫込みとする。

(3) 色

蓄光反射縫込み部分は白色、縁は紺色とし縁は細めにする。

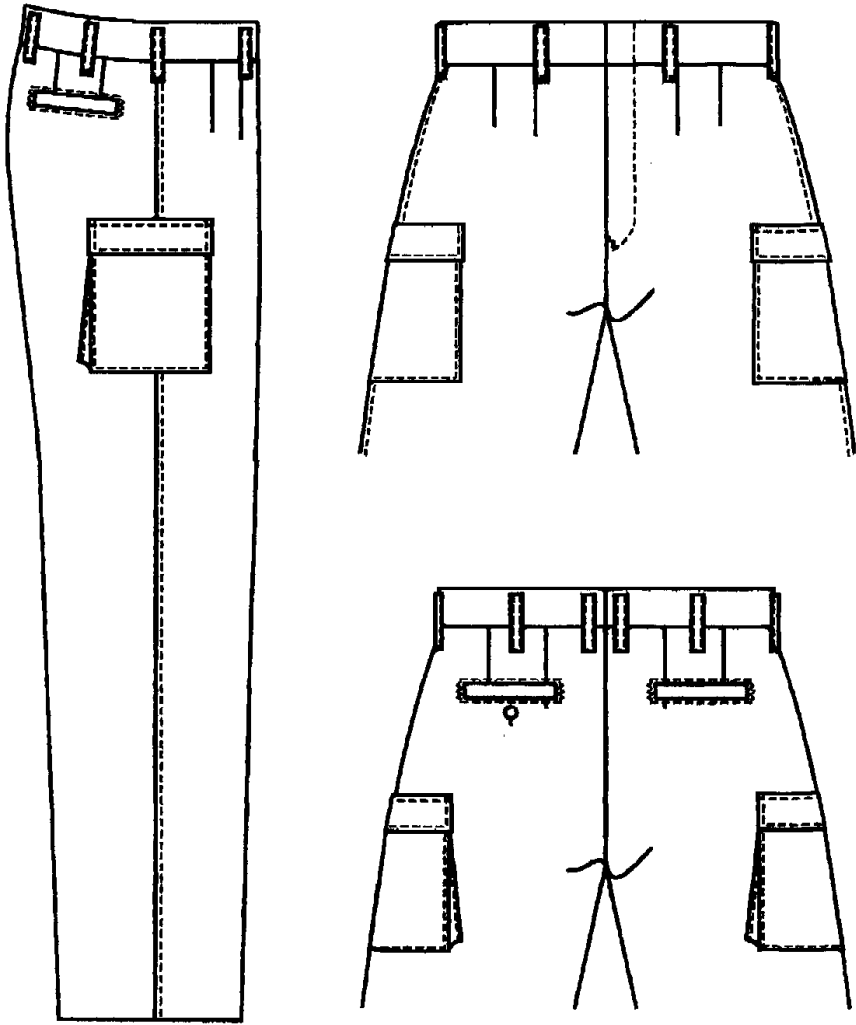
(4) 書 体

丸ゴシック字とする。

(5) その他

見本による。

※ なお、縫製（刺繍を含む）にあつては、十分な強度を持った仕上がりとする。



上 衣 寸 法 表

(出来上がり寸法)

	カラー	上衣丈	胸囲	肩巾	袖丈
A S	3 7	7 5	1 0 0	4 3	5 3
A M	3 8	7 7	1 0 5	4 4	5 5
A L	3 9	7 9	1 1 0	4 6	5 7
A L L	4 0	8 1	1 1 5	4 8	5 9
A 3 L	4 2	8 4	1 2 0	4 9	6 3
B S	3 8	7 5	1 1 0	4 5	5 2
B M	4 0	7 8	1 1 5	4 7	5 4
B L	4 2	8 1	1 2 0	4 9	5 6
B L L	4 4	8 1	1 2 5	5 1	5 6
B 3 L	4 7	8 4	1 3 0	5 3	6 0

衿回り及び衿丈については採寸を行うこと。

上記寸法に明記されていない部分のサイズは、サイズサンプル通りとする。

ズ ボ ン 寸 法 表

号数 区分	A 1	A 2	A 3	A 4	A 5	A 6	A 7	B 2	B 3	B 4	B 5	B 6
腰廻	7 0	7 3	7 6	7 9	8 2	8 5	8 8	9 1	9 5	100	105	110
股下	7 5	7 5	7 5	7 5	7 5	7 5	7 5	7 5	7 5	7 5	7 5	7 5

股下は採寸の上、裾上げを行うこととする。

上記寸法に明記されていない部分のサイズは、サイズサンプル通りとする。

別紙6

エンブレム台座

